



かみさと 議会だより

- ◇12月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇12月定例会一般質問に9人 …P 5
- ◇研修会レポート等 ……P14
- ◇第3回意見交換会
ならびに議会報告会等 …P16
- ◇3月定例会会期日程等 ……P18



【合唱団かみさと】

毎月第1第3水曜日の19:00～21:00、第2第4日曜日の14:00～16:00に神保原公民館で活動中。活動の歴史は古く、昭和の時代から「グリーンエコー」の団体名で活動し、平成4年より団体名を「合唱団かみさと」に改名して、現在、岸先生及び入澤先生含めて15名で楽しく和気あいあいと練習しています。2020年度まで成人式では国歌、町歌を斉唱していました。

- | | |
|--------------|---------|
| 伊藤 喜代美氏 (代表) | 入澤 信子先生 |
| 岸 早苗先生 | 石関 公子氏 |
| 江上 恵子氏 | 遠藤 幸智子氏 |
| 押見 恵子氏 | 笠原 洋子氏 |
| 小林 一枝氏 | 清水 笑子氏 |
| 南 純子氏 | 内田 八千代氏 |
| | 及川 正子氏 |
| | 金井 恵美子氏 |
| | 竹内 シゲ子氏 |

【上里町民踊連盟】

毎月第1第3土曜日の13:30～15:30に神保原公民館で活動中。活動の歴史は古く、昭和の時代に「民踊クラブ」として発足し、平成9年より「民踊連盟」になりました。現在、代表兼先生の齋木はな先生を中心に23名で明るく楽しくお茶を飲みながら活動して親睦を深めています。毎年3月の第2土曜日に上里町多目的ホールで発表会を開いております。



106

- | | | | | | |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 齋木 はな氏 (代表・先生) | 相川 さとみ氏 | 今井 美和子氏 | 植井 和子氏 | 植井 光江氏 | 大谷 美智子氏 |
| 岡田 美代子氏 | 片井 悦子氏 | 木村 富江氏 | 小池 八千代氏 | 小峰 初代氏 | 須永 スミ江氏 |
| 田中 みち子氏 | 戸矢 久子氏 | 並木 和枝氏 | 羽賀 利江氏 | 濱谷 きよせ氏 | 山田 千鶴子氏 |
| 齋藤 すみ江氏 | 青山 喜久男氏 | 橋爪 喜久枝氏 | | | 竹内 敬子氏 |
| | | | | | 長沼 重行氏 |

第6回 12月 定例会

12月5日～12月13日

第6回12月定例会は12月5日に開会され、議員9名の一般質問と議長選挙、副議長選挙、その他選挙2件、町長提出議案等22件を審議して12月13日に閉会

■新議長に飯塚賢治議員、新副議長に金子義則議員を選出
■上里町課設置条例の一部を改正する条例を可決



飯塚賢治議長就任あいさつ



町民の皆様には、常日頃より議会運営に対しまして、深いご理解と温かいご支援を賜り議会を代表して心からお礼申し上げます。

このたび令和6年第6回定例会におきまして議長を拝命いたしました。就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

地域社会を取り巻く環境

は、人口の減少や少子・高齢化への対応、長引く歴史的な円安や物価高騰の影響など厳しい状況が続いています。また、地方分権の進展に伴い議会の役割・責任が拡大し、今まで以上に責任ある議会活動が求められています。

私たち議会は、二元代表制の一翼を担う議事機関として役割を果たすとともに、町民の皆さまが安全で安心して暮らせるまちづくりの実現に向けて、その負託に応えられるよう職責を全うする覚悟であります。

また、上里町議会では、議会基本条例に基づき、議会改革を進めてまいります。政策形成や町民の皆さまの多様な意見の集約と反映などを通じて、意思決定機関

としての役割を十分に発揮しながら皆様の信託に応えてまいりますので、町民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

金子義則副議長就任あいさつ



このたび令和6年第6回定例会におきまして、副議長という要職を賜りました金子義則です。身に余る名誉であり、またその職責の

重さを実感しております。新型コロナウイルス感染症発生から約5年が経ち、昨年度には5類の感染症となりました。社会経済活動も徐々にですが活発になってきています。今後は地域経済を立て直し、住みやすい上里町を町民の皆さまと共に作ってまいりたいと思います。

特に少子化対策や子ども子育て支援、教育の無償化や高齢者対策など、町でもできる対策の政策提案を推し進めていきたいと思っております。

議会の果たすべき課題一つ一つを着実に推し進め、町民の皆さまの負託に応え、議会を円滑に進めるべく議長を支え、公平公正で身近な議会運営に取り組んでまいります。

今後も町民の皆さまのご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

◆◆◆ 専決処分 ◆◆◆

専決処分の承認を求めること（承認第4号）

令和6年度上里町一般会計補正予算（第5号）

概要 歳入歳出それぞれ1207万9千円を追加し、

予算総額を歳入歳出それぞれ115億6362万6千円とするものです。補正内容は衆議院議員総選挙事務です。

◆◆◆ 条例 ◆◆◆

上里町課設置条例の一部を改正する条例

要旨 商工等の地域活力を創造する業務等を所管する「地域活力創造課」を新たに設置し、「産業振興課」を「農業振興課」へ課名変更し、農業関連政策を担うとするものです。

上里町税条例の一部を改正する条例

要旨 公益信託に関する税制上の措置を講ずるための所得税法等の改正及び扶養親族等申告書の記載事項の簡素化に伴う整備を行うものです。

上里町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例

上里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

要旨 人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告を踏まえ、職員給与及び期末手当並びに勤

勉手当の改定を行うとともに、上里町長、副町長、教育委員会教育長及び議会議員の期末手当の改定を行うものです。

上里町犯罪被害者等支援条例

要旨 犯罪被害者等の支援の基本となる事項を定め、施策を総合的に推進するとともに、万が一犯罪被害者になつてしまった方やそのご遺族等に対する支援に取り組むため、新たな条例を制定するものです。

◆◆◆ 契約 ◆◆◆

工事請負契約の変更

要旨 神流リバーサイドロード築造工事の契約金額を変更するものです。

・契約金額 5911万7百円↓
6467万7百円(556万6千円増額)

◆◆◆ その他 ◆◆◆

上里町公の施設の指定管理者の指定

要旨 図書館及び郷土資料館の管理を実施するため、管理者を指定するものです。

・指定管理候補者

シダックス大新東ヒューマ
ンサービス(株)

◆◆◆ 令和6年度補正予算 ◆◆◆

上里町一般会計補正予算（第6号）

概要 歳入歳出それぞれ8687万4千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ116億5050万円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・財産管理事業 2990万円
・子どものための教育・保育給付事業 1494万1千円

上里町一般会計補正予算（第7号）

概要 歳入歳出それぞれ2889万4千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ116億7939万4千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

・給与費 1284万4千円

※特別会計、事業会計の補正予算も提出され、原案のとおり可決されました。

◆◆◆ 意見書 ◆◆◆

美里町の埼玉県議会議員選挙区を北第3区から北第2区に戻すことに関する意見書(案)

学費値上げを中止し、値下げし「学費ゼロ」を求める意見書(案)

選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書(案)

◆◆◆ 選挙・選任 ◆◆◆

上里町議会議員選挙(投票)

結果 飯塚 賢治 6票
戸矢 隆光 6票
白票 1票

※同数のため、くじにより飯塚賢治議員が当選しました。

上里町議会副議長選挙(投票)

結果 金子 義則 6票
高橋 仁 5票
白票 2票

常任委員の所属変更

結果 左記表のとおりです。

総務経済 常任委員会	飯塚 賢治 議員	→	飯塚 賢治 議員
文教厚生 常任委員会	飯塚 賢治 議員	→	飯塚 賢治 議員
議会広報広聴 常任委員会	飯塚 賢治 議員	→	飯塚 賢治 議員

児玉郡市広域市町村圏組合議会議員選挙

結果 指名推薦により、飯塚賢治議員、金子義則議員が当選しました。

本庄上里学校給食組合議会議員選挙

結果 指名推薦により、戸矢隆光議員が当選しました。

議案		議員名	石井慎也	伊藤 覚	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	香澤幸子	高橋 仁	黨 浩之	結 果
専決処分の承認を求めること(承認第4号)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		承認
上里町課設置条例の一部を改正する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
上里町税条例の一部を改正する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	議	可決
上里町公の施設の指定管理者の指定			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
工事請負契約の変更			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
令和6年度	上里町一般会計補正予算(第6号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	長	可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
	上里町介護保険特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
上里町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例			○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
上里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例			○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
上里町犯罪被害者等支援条例			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
令和6年度	上里町一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	議	可決
	上里町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
	上里町介護保険特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
	上里町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
	上里町水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	長	可決
	上里町下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
	上里町農業集落排水事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
美里町の埼玉県議会議員選挙区を北第3区から北第2区に戻すことに関する意見書(案)			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○		可決
学費値上げを中止し、値下げし「学費ゼロ」を求める意見書(案)			×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	-	○	×	×	可決
選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書(案)			○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	-	○	×	×	可決

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対 -欠席)

政治倫理審査結果の報告

令和6年4月30日、猪岡壽議員他3名から高橋仁議員に対する「上里町議会議員の政治倫理条例」第4条第5項(政治倫理基準)違反に関する審査請求書が上里町議会議長宛に提出されたことによる審査会からの報告書を次の通り報告します。

【審査結果】

令和6年7月31日、政治倫理審査会が設置され4回の審査会を開催し、条例第4条第5項「議員は法令で定める場合及び議会であらかじめ定める場合を除き、町から活動又は運営に対する補助や助成を受けている団体等の役員に就任してはならない」に対して慎重な審査を重ねた。

複数の団体の役員に就任していたことは本人も認めており、条例第4条第5項の政治倫理基準に違反していると決定する。

条例制定後1年の猶予期間があったにもかかわらず役員に就任したままでいたこと、また3年間、議会運営委員会等で議論され、委員長と議長の数回に渡る説得に応じなかった等の経緯を重く受け止める必要がある。

現在は全ての役員を辞めているとのことであるが、今後はこの条例を遵守していただき、町民全体の代表として町政に携わる責務を深く自覚したうえで、住民の信頼を損なうことのないよう倫理の保持に努めることが求められていると考える。

よって本審査会は、「文書による嚴重注意」の措置を講ずるよう求める。



金子 義則

問 役場職員に対するカスハラについて

答 全職員に対してアンケートを行い調査中

1 役場職員に対するカスハラ
マーハラスメントについて

問 自治体におけるカスハラマーハラスメント被害が報告されているが、上里町役場でも現在どのくらいの迷惑行為があり、今後どのような対応策がされるのか。

答 職員が受けるカスハラ的事案については、当町においても発生している状況であり、業務中における窓口対応時や電話対応時によるものが大半である。詳細な内容等については全て把握していないが、全職員を対象としたハラスメントアンケート調査を行い、全体把握に努めている。

また、今後の対応として議員から提案頂いた代表電話通話録音システムなどは、通話が録音される旨のアナウンスを流すことで、不適切な言動を抑制する効果や問題が発生した際に客観的な証拠を持つことで適切な対処や法的な処置を迅速に講じることができ、ま

た、職員はカスハラを受けなくても対処が行われるという安心感を持つことができ、ストレス軽減やモチベーション向上にも寄与するなど、職員を守る上でも有効な手段である。現在先行導入している近隣自治体の情報などを参考に、費用対効果を含め、早期導入に向けて検討したい。

2 通勤通学路における
渋滞緩和対策について

問 上里東小学校北側交差点における東西右折車両等が原因でおきる渋滞と児玉工業団地線の本郷交差点における右折車両による朝夕の渋滞に対する右折信号設置要望について、担当課による交通量調査により状況把握できたかと思うので、その後の対応の進捗状況について聞きたい。

答 上里東小学校北側交差点信号機の東西における右折信号については、議員より6月定例議会会で質問をいただき、また併せて町民の方からも直接話があった。

その後担当課により朝夕の交通状況調査を実施した。朝方は午前7時から8時30分まで、夕方は午後5時から6時30分までの時間帯で調査を実施し、状況把握は出来たので、この結果を本庄警察署に伝えて協議を行っていききたい。

本郷信号機における右折信号については、現在右折できず渋滞が発生していることは警察署でも把握しており、本部とも協議し検討したいとのことである。

両交差点とも町民の生活道路及び通勤者の主要道路でもあるので、本庄警察署と連携して、交通事故のない、住みよい上里町を念頭に取り組んでいきたい。



上里東小学校北側交差点

3 物価高騰における
対策支援について

問 景気対策として期間限定でもよいので、小中学校の給食費無償化やがんばるべえ上里の地域応援商品券の発行事業等は出来ないか。

答 昨今の物価高騰に対する支援策については、様々な思いをめぐらせているが、一方で、国の財政処置がない中で実施した場合の町の財政負担は非常に大きいことから、将来的な町財政も考えなければならぬ。

また、政府は地方の経済対策交付金を盛り込んだ物価高への対応などを柱とした新たな経済対策を決定した補正予算案を国会に提出する見通しであるため、国及び社会経済情勢の動向を見極めつつ、町の財政状況や国・県の補助制度など総合的に判断し、全町民に効果的な支援策を実施できるように準備していききたい。



沓澤 幸子



問 デジタル教科書のデメリットを慎重に

答 五感を使った教育を重要視することが大事

1 質問 デジタル教科書について

問 今年度導入された教員のデジタル教科書の使用実態と検討状況は。

答 教育長 教員の活用は進んでおり、ほぼ毎日使用している。資料や写真の印刷など事前準備の負担軽減もある。全小中学校のICT担当者を対象に情報交換を行っている。

問 ICT先進国のスウェーデンでは紙の教科書に回帰している。特に学習の基礎を学ぶ小学生は、五感を使った学びが大事だと思う。児童・生徒用デジタル教科書は、メリットの一方でデメリットと指摘される視力や集中力の低下などは重大であり、慎重に検討を。

答 教育長 令和6年度から英語、算数、数学を段階的に導入し、週2〜3日活用している。教員の話を聞いてまとめて書くことや低学年は五感を使った教育を重要視することが大事と考える。

2 質問 放課後児童健全育成事業について

問 学校の余裕教室に移った長幡・七本木小学校の公設民営の放課後保育室は、常にテーブルが出ており、児童1人当たり概ね1.65m以上の基準が守られているか。遊びの場、生活の場、憩いの場、静養の場としてどうか。

答 面積は満たしている。学校施設も利用できるが、クラブ室は子ども達がホッとできる様な場所であることとを認識している。必要なスペースの確保に努めたい。

3 質問 1こども誰でも通園制度について

問 「1こども誰でも通園制度」は、親の就労に関わらず6カ月から3歳未満児の子どもを保育所等に預けられる制度である。子育て支援の目的は良いが、預けられる子、保育士、通常保育児にも負担が大きすぎる制度だと思う。26年度本格実施への検討状況は。

答 制度の導入が保育士の負担を増やし、保育の質の維持が課題となるなどの声も上がっている。令和8年度実施に説明会参加や情報収集を行い、来年度に条例整備、実施施設との調整を行っていく。保育の質、子どもの安全を第一に丁寧な準備を進める。



4 質問 高齢者福祉について

問 老人福祉センターのリレーション部分は身近な公民館の利用を、と言うが、複合第1館の長幡公民館の交流スペースは待合所程度である。高齢者が自由に交流を楽しめるスペースをどの様に確保するのか。

答 公民館には交流フロアがある。それ以外でも会議室やホールも空いていれば

利用できる。広報や公民館だより等で周知していく。

問 加齢性難聴者への補聴器購入補助制度は、3回目の質問になる。高齢者の難聴は防げないため、補聴器を使い聞こえる状態を維持することが大事と言われている。県内では15自治体に補聴器購入補助制度が広がっている。町の検討状況は。

答 補助制度を実施する場合には医師の協力を仰ぎ、スムーズな申請が出来るよう調整し、前向きに検討していく。

5 質問 北まちづくり事業について

問 4857万9千円の駅北まちづくり事業と大型商業施設跡地等進捗状況と方向性は。

答 詳細は全員協議会で説明したい。大型商業施設跡地のポテンシャルの高さを認識しており、計画に見合う施設の誘致を目指している。教育機関の可能性も含め情報収集と検討をしている。



一般質問

石井 慎也



問 避雷器を導入するべきではないか

答 検討していきたい

質問 1
情報発信について

問 情報発信としてSNSを積極的に使うべきではないか。

答 町公式のSNSとしてLINE、フェイスブック、ユーチューブ、インスタグラムがある。

表アカウントについては、既存のまちづくり推進課と観光協会との情報のすみ分け、役割分担など運用方法を整理した上で、アカウン

トの取得について検討していきたい。

問 情報発信に力を入れるためにも、広報課が必要なのではないか。

答 社会・経済の変化をリサーチし、戦略的な広報活動により、町の魅力と求心力を高めていくためにも重要であると考えているが、広報課の新設を検討する前に研修などを通じて役場全体の広報力の向上に努めていく。

質問 2
水路法面の活用について

問 水路法面を無償で民間企業に貸し、太陽光発電事業を行うことは出来るのか。

答 町の既存財産の有効活用と土地改良施設管理の省力化にも繋がる大きな可能性があるものと認識しているが、現段階では、設置する水路法面の選定や費用面、民間企業の参入意向など、調査・研究が必要となる。

質問 3
体育館の利用について

問 小学校の体育館を利用するスポーツ少年団は、毎年3月の卒業式から4月の入学式までの約1ヶ月間活動が出来なくなってしまう。

スポーツ少年団の方々に町民体育館を優先的に使えるようにし、活動場所の確保をするべきではないか。

答 教育長 スポーツ少年団以外の団体も多く利用されており、スポーツ少年団のみ優遇することは難しい。

問 町民体育館の空き枠の申し込みは前月の20日となっていて、朝並んだ順で空き枠を取れる仕組みだと不公平が生まれてしまう

のではないか。

答 教育長 現状のシステムの中では、来た順ということになってしまう。その中でより多くの団体に利用できるような方法は今後検討していきたい。

質問 4
防犯カメラの設置について

問 さいたま市の中学校では電気用ケーブルが切断され盗まれるという事件が発生して停電が起き、給食の調理が出来なくなり、短縮授業をせざるを得なくなりました。

このような犯罪は身近に起きる可能性が十分にある。各学校の防犯カメラの台数を増やすことを検討してどうか。

答 教育長 限りある予算の中で、より効果的に防犯対策を図れるよう、設置場所についても学校と協議を行いながら、防犯カメラの増設について検討していきたい。

質問 5
避雷器について

問 賀美小学校では雷の影響で、給食を2階に持ち上げる小荷物専用昇降機とチャイム、ファックス等が壊れてしまった。

上里町の公共施設には避雷器がほとんど導入されていない。大きな被害が出る前に避雷器を導入するべきではないか。

答 教育長 学校や各施設における事務は、もちろん授業を行うためにもパソコン等の事務機器はなくてはならないものであり、落雷により使用できなくなった場合の影響は計り知れない。

上里町公共施設再配置維持保全計画に定められた改修工事を行う際に、コスト等を勘案しながら検討していきたいと考えている。



町民体育館



猪岡 壽

問 企業誘致は町にとって重要な課題だが

答 企業誘致の推進は重要な施策と認識している

1 消火栓を使用しての放水訓練についての課題

問 令和6年7月13日10時より、一丁目住人と指導する広域消防署、神保原自衛消防団、約150名が参加し、御陣場川左岸近辺の消火栓より、消火ホースを5本繋ぎ、御陣場川へ放水するという高齢者と女性を主に対象とした放水訓練を行った。

放水テスト開始後、4本の接続ホース折れ目より大量の水漏れが発生し、放水作業が出来なくなるアクシデントがあったが、予備のホースに変えて防災訓練は終了した。

今回の訓練におけるホースの水漏れについて他の行政区でも発生する可能性があるため、水漏れのテストを実施する必要があるのでは。

また、水漏れによりホースの交換が大量に発生することが想定されるが、その交換の費用については町の予算で準備願いたい。

答 この度の放水訓練については感謝申し上げる。

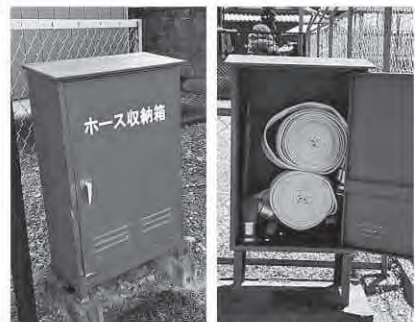
今回の一丁目の訓練を含め、各地区の事例や課題など、区長会や自主防災会を通じて、日頃からの住民による訓練、点検の重要性、消火栓用ホースの耐用年数など共有していきたい。

次に、放水テストによるホースの不良品についてだが、ホース格納箱や消火栓用ホース、管槍等は、行政区の財産であり、その使用・維持管理についても所有者である行政区が行っている。

消火栓ホース等購入の際は、消防施設補助金制度において費用の3分の1を町の予算の範囲以内で補助している。

また、自主防災組織を設置した行政区では、自主防災組織活動費補助金も訓練や防災意識の高揚を図るための活動経費として活用できる。災害の拡大を防ぐためには、個人や家族の力だけでは限界があるため、地域の人が集まり、協力しあって防災活

動に取り組みよう町としても行政区と協力していきたい。



消火栓用ホース等格納箱

質問 2

工業団地誘致について

問 「人口減少を抑える手段として工業団地誘致を」について。

人口減少に歯止めが利かない現状を打破するには、企業誘致を実現させることが必要である。企業誘致が実現すれば人口が増加し、町税等の増加が見込まれ、町の財政はより健全になる。

財政がしっかりしている自治体は消滅可能性自治体にはならない。それには上里町は企業誘致できる場所としては最適な条件がそろっている。JR高崎線に

は神保原駅があり、近くには上越新幹線の駅もある。道路は国道17号、関越自動車道、上里スマートインターチェンジがあり、交通網は万全だ。また、地震の災害は少ない地域で企業立地には最適な場所だ。

候補地としては、30ヘクタールの整備された大御堂地区と6ヘクタールから8ヘクタールの整備された上里サードピア北側の隣接地がある。ミニ工業団地誘致には最適な土地だと思うが。

答 企業誘致の推進は町の発展に大きく寄与し、未来の子どもたちのためにも重要な施策であると認識している。

上里町として新たな企業誘致に取り組むべく、本年8月に県議会議員長、県議会議員と埼玉県知事を訪問し、産業団地造成や企業誘致の要望活動をしてきた。

当時の知事の感触は非常に良く、期待が持てる感じがあった。これからも産業団地や企業誘致についてPRしていく。



一般質問

戸矢 隆光

問 農家の人達が元気になるような施策を

答 薬剤散布も有効だが慎重な考慮が必要

質問 1
保健センター・老人福祉センターを含めた周辺跡地について

問 住民の中には老人福祉センター・保健センターの跡地を民間に売却するのではないかと、福祉施設になるのではといった様々な推測の意見もあるが、跡地利用をどのように考えているか。

答 庁内会議では、周辺の公的施設における当該用地の活用意向調査を実施し、現時点では活用の意思がないことを確認した。建物の取り壊し後の当該用地については、売却もしくは貸し付けの方向で検討している。令和8年度中に順次解体していく。

問 公共用地を有効に利用することは、議員の中でも様々な意見が出ている。

その中で上里町の学校のプールが老朽化しているの
で、プールを作ったかどうかとの意見もある。

また、上里町が用地を提供し、広域圏でプールを作ってもらうのも一つの方

法という意見もあったが。
答 現在の公共施設再配置維持保全計画の計画期間内においては、新たな公共施設の建設予定はない。

質問 2
事業の進捗状況について

○神保原駅北通りについて
問 現在の状況や進み具合は。また、埼玉県との感触はどうなのか。

答 現在、神保原停車場線と県道勅使河原本庄線とのクランクの解消の事業化を念頭に、埼玉県との協議を開始。クランク解消は駅北まちづくり計画の大きな前進につながるので、埼玉県との連携を軸として力を入れていきたい。

○四ツ谷交差点について

問 都市計画道路の変更に
関する説明会の状況や住民からの問題や意見は。

答 約20名参加。取付け道路の位置が不便に感じるのとや営業活動に影響が出るため対応してほしいなどの意見があった。12月下旬に再度説明会を開催。

質問 3
事業の円滑な進め方について

問 一般質問や全員協議会に質問をした際に、資料の提出を依頼しても資料が出てこない。議員の執行者に対する資料請求はいたってシンプルなやり方である。議員も提供された資料を基に再度調査・研究をして町づくりに努めていくのはしごく当たり前だと思うが。

答 議員活動において極力必要な資料は提供したいと思うが、その資料が町の政策決定前のもので企業の経営判断等に関するもの、事業の交渉内容や個人情報など守秘義務が伴うものは公開できない。

質問 4
稲作について

問 上里町においても、野菜等の専業農家以外のほとんど
の農家で米を栽培している。
昨年からコメカメムシの
病害虫駆除が注目されてきたが、今年度は昨年にも増して発生量が大きく、倍の

駆除回数が必要だと言われている。昔は空中散布などの害虫駆除が行われていたが、最近では個人の駆除により行われている。

町内の農家に聞くとコメカメムシが食べたコメは黒くなつて見た目が悪く収量も少ない。

日本の主食である米の生産農家を少しでも守り、農家離れが叫ばれる中、農家の人たちが少しでも元気になるよう応援施策を考えてもらいたい。

答 農家の皆様が安心して稲作を続けられるよう支援していきたいという思いは共通している。

県内のコメカメムシ、いわゆるイネカメムシの発生状況は、県東部で被害が発生しており、上里町では大きな被害の報告は受けていないが、今後、県北部においても防除が必要と考える。

適切な時期に薬剤散布も有効と考えるが、一方で農薬の使用が環境に与える影響についても慎重に考慮する必要がある。



一般質問



高橋 勝利

問 少子化はお金で解決できるのか

答 お金だけではなく子育て世代等の意見も大切

1 少子化はお金で解決できるのか

質問

問 高い出生率を保っているのは、増え続けている人口を支えられない国ばかりである。アフリカには1人の女性が生涯に7人の子供を産み、人口は3%以上増えているが、平均年収は1000ドルにも満たない国がある。

日本だけではなく欧州などでも出生率の低下が進んでいる。日本や他の裕福な国々の政府は、出生率の低下を憂慮している。

町長は上里町の現状と比較してどのような分析をしているのか。

答 長期的に見ると、多くの先進国において出生率は低下しているが、先進国の中でもフランスやスウェーデンなど、2000年頃から出生率が上昇に転じている国もある。

両国とも、急速に人口減少が進んだことから、少子化対策を国家戦略の重要な柱としてきた経緯もあり、GD

Pに占める少子化対策への公的支出の割合は日本の約2倍であり、その点においては、少子化対策にはお金は必要であると言える。

問 スウェーデンでは育児支援に惜しみなくお金を使い、オーストラリアでは親に赤ちゃんボーナスを付与、フランスでは親の所得税を減免、韓国や日本では育児休業制度を適用している。

しかし、このような金銭的誘因があっても、自国民の数が減り続けている。これだけお金を使ったのにどうして子供が生まれてこないのか。

こうした現状を理解するには、身近にいる子育て世代に聞くことが大切だと思いが町長の見解は。

答 少子化対策を行うに当たって、子育て世代の意見を聞くことは重要であり、いろいろな形で子育て世代に向けた調査や座談会等を実施している。

今後も様々な機会を捉えて、子育て世代の意見を聞きたい。

問 義務的退職制度について。出生率の低下により若年労働者が減り続ける一方で、高齢者人口は増加する不都合な事態が続く中で、欧州や韓国、日本においては、一定の年齢に達した労働者に仕事をやめるよう義務づけている。

アメリカにおいては、このような義務的退職制度の撤廃により、70代、80代になっても仕事を続けている人が多いが、町長のこの義務的退職制度についての見解は。

答 少子高齢化が急速に進展し、人口が減少する中、働く意欲がある高齢者がその能力を十分に発揮できるように、高齢者が活躍できる環境が整備されることが重要である。

2 土地改良区事業の決算について

質問

問 排水路管理における地先管理や不足金などの問題について。

答 今後も、現在の負担軽減策を行いながら、新たな方策を模索し、持続可能な開催方法と地域住民の意識の醸成を図りつつ、適切な用排水路管理に努める。

3 保育料の完全無償化が実現し半年が経過したことについて

質問

問 保育料の完全無償化実現から半年経過した子育て世代に与えた影響について。

答 「2人目の入所の費用を心配しなくて済んだ」など多くの感謝の言葉を頂いており、転出先として上里町を考えている方や、実際に他市町村から転入してきた方、働き始めるのを早めた方もいた。

また、0歳から2歳児の入所希望が昨年度より増加しており、来年度の入所についても、同様に増加している。





一般質問

飯塚 賢治



問 地域防災計画の修正について

答 早期に反映できるよう努める

質問 1 婚姻届の記入例について

問 地方議会では選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論を求める意見書が提出されているが、依然として国会では議論が進んでいない。議論が進み法制化となれば各自治体は速やかな対応となるが、記入例の変更について伺う。

答 戸籍届出の様式は、法律で定められているもので、法制化されれば様式も変更されると考えている。定められた様式に沿って分かりやすい記入例を作成していく。

また、選択的夫婦別姓制度が法制化されれば、国において各種の周知リーフレット等が配布される見込みなので、適切に制度の周知に努めていきたい。

質問 2 医療的ケア児支援センターの状況について

問 医療的ケア児の家族より町のコーディネーターに相談があれば、地域セン

ターと連携を取ることになるが、関係機関との日頃の連携や相談内容に応じた連絡調整の方法、相談件数や満足度などの実績に基づいた評価や研修等による相談の質の向上の取組などの現在の状況を聞きたい。

答 現在、医療的ケア児に当たる子供の情報に接していないが、大半は子供が病院への長期入院をした後自宅へ戻る際に、病院から様々な説明がある中で、医療的ケア児等支援センターの紹介に併せて市町村への相談も提案されると思う。もし、相談を受けた場合は医療的ケア児支援センターに情報提供をするとともに、支援センターと町の連携による総合的なサービスの提供を支援していきたい。

また、医療的ケア児等の対応をするコーディネーターの配置は今後の課題であるが、県主催の医療的ケア児コーディネーター養成研修への保健師等の受講を含め、地域の支援体制を目指す。

質問 3 GIGAスクール端末の更新について

問 大量の端末処理をどのように進めていくかが課題であり、不適切な処理が多発、国際問題化しているが、使用済み端末の再使用または再資源化について伺う。

答 教育長 令和7年度に更新する端末は約2200台から2300台を見込んでおり、再使用が可能な端末の有効活用について検討する。

端末のデータ消去については、専用のソフトウェアを使用したり、強力な磁界を照射させてデータを消去する磁氣的破壊や物理的な記憶装置の破壊などを実施して、確実に国内で再資源化できるよう法律を遵守し、適切な端末の処分を行う。

質問 4 国の防災計画修正について

問 国の中央防災会議は防災基本計画を修正した。ポインタは能登半島地震で高齢者の方、要配慮者が数多

く被災したことを踏まえ、災害応急対策に福祉的な支援の必要性を明記したことや、より快適なトイレの設置への配慮、共有すべき防災情報を総合防災情報システムに集約できるよう努めること等、町の地域防災計画に反映させる事項があると思うが修正について伺う。

答 町の地域防災計画への反映については、防災会議に諮り、必要な修正を行うことになっており、関係機関との調整等や改定後の周知啓発で多くの時間を要することから頻繁にはできない現状である。

しかしながら、能登半島地震の教訓を生かし、町の防災体制強化を図るため、早期に町の地域防災計画に反映できるよう努める。



地域防災計画



一般質問



伊藤 寛

問 児童が下校時にデマンド交通を利用出来るか

答 保護者の申出があればその都度検討したい

1 上里町のハラスメント対策について

問 令和3年2月に上里町職員ハラスメントの防止に関する指針が作成されているが、三役からのハラスメントに対する相談や報告はなかったか。

答 三役からハラスメントを受けた等の報告はないが、実態を把握し、未然防止、早期発見、対策強化、再発防止対策等に取り組んでいく。

問 令和6年第1回定例会議において、同僚の石井議員より匿名のアンケート調査を行う必要性があるとの一般質問があったが、既に行ったのか。

答 正職員、会計年度任用職員を含めた全職員を対象に、ハラスメントアンケートを実施中である。

問 管理職を対象とした職員ハラスメント防止研修を実施しているが、今後は全ての職員を対象とした研修も実施してはどうか。

答 今後、全ての職員向けに

高い効果が期待できる方法を工夫しながら実施する。

問 群馬県庁では、カスハラ対策として、職員の名札の表記をフルネームから名字のみに改めた。上里町でも通常の窓口対応業務時の名札の表記を改めてはどうか。

答 先行導入を行っている近隣自治体の情報などを参考に、名札への記載事項や切替え時期などの調整を行い、早期導入に向けて検討したい。

問 窓口対応においての暴言や暴力、過剰な要求、カウスターをたたいたりするなどの行き過ぎた行為に対し、本庄警察と緊密な連携が取れるよう書面協定を結んでみては。

答 警察との協定締結や通報基準はないが、いざというときに迅速な行動が取れるよう、本庄警察との連絡調整を密に行っている。

2 上里町デマンド交通の児童の利用について

問 令和7年4月1日よりデマンド交通の導入を予定

しているが、遠距離登校の児童が下校時に利用できれば、自宅近くで降車でき安心・安全に帰宅することができると共に、デマンド交通の利用促進、活性化につながると思うが。

答 教育長 下校時における上里町デマンド交通の児童利用には、保険や安全面など幾つか課題がある。予約状況に応じて第三者との乗り合わせの可能性があるため、児童の安全面の確保が難しい。

問 各家庭で自己の保険による対応ができ、保護者が了承した場合でも、利用は難しいということか。

答 教育長 保険の問題だけでなく、安全面の問題もあるため、安易に大丈夫だとは言いがたい。

問 保護者が保険、安全面など全て了承した場合でも、利用は難しいということか。

答 教育長 保護者からの申出があった場合については、その都度検討したい。

問 『小学生の利用料は150円だが回数券がな

く、利用料金を支払うために、学校に現金を持参することは、トラブル回避の観点からも課題がある。』との事だが、子ども用の回数券の作成を検討していただくことは可能か。

答 回数券は車内販売のみで運転手が販売することから、料金の取扱いが複雑とならないよう回数券は1種類としたので非常に難しい。

問 役場には出納窓口があるので、回数券の販売対応を検討してほしい。

答 役場の出納窓口での回数券の販売は、4月以降のデマンド交通の運用に当たり、そのニーズを踏まえて検討させていただきたい。





齊藤 崇

問 令和6年度新規事業について

答 概ね順調に進捗している

1 人生100年時代について

問 健康寿命の定義は、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間とある。

答 超高齢化社会となる中、この健康寿命を延ばすことにより、町民の医療費や介護費を抑制できると言われているが、町ではどのような施策（事業）を取り組んでいるのか。

答 町では、包括的連携協定を結んでいる日本女子体育大学と協働でウォーキングなどの運動の実践や食生活についての講座を開催、オリジナルの動画やリーフレットをHPに掲載し啓発している。また、運動や食生活についての講座や健康長寿サポーター養成講座、自主グループ活動支援等も実施している。

問 「健★幸マイレージ」事業は歩数計や活動量計、スマホアプリなどで簡単に始められるウォーキングで、健康で長生きを目指すサービス

である。この事業をスタート

させてから約6年が経過、以前の「いきいきスタンプラリー」事業から如何ほど内容がグレードアップしたのか。

答 「いきいきスタンプラリー」時に実施していたがん検診や特定健診の受診、健康教室への参加に加え、ICTを活用してスマホからウォーキングの歩数や体重記録をデータで管理、健康ポイントが即時に確認できるシステムを導入した。

また、ポイント対象となる事業はマイレージ事業開始当初の25事業から令和6年度は35事業へと拡大した。登録者数も当初300人程度から令和6年10月現在1960人へ増加した。

2 質問 中学校の部活動について

問 中学校体育連盟は2027年度の全中大会から9競技を除外すると発表した。特に冬季競技は駅伝のみとなる。今後、地域クラブへの移行も進まなければ、競技人口が一気に減少

する恐れがある。

1979年度から始まった全中大会、代替の全国大会を創設するなど、生徒の意欲をつなぎとめる改革を進めていく必要があると思うが。

答 教育長 令和9年度以降の代替の全国大会が実施されるか注視していく。

今後は、中学校体育大会の競技減少により競技人口が少なくなり、スポーツに興味を抱かなくなること防ぐためにも、子供達の部活動を選択できる環境を確保するために新たな取り組みも検討していく。

問 昨年スポーツ庁は、令和4年度の体力、運動能力、運動習慣等調査結果を公表した。小・中学校の男女共に、

令和元年度から3年連続で体力合計点が低下している。また、運動をしない子供の割合も増加、更に肥満に該当する子供も増加している。

心身共に成長する最も大切な時期、町の教育委員会はどうのように捉えるか。

答 教育長 文科省が実施している体力・運動能力の

調査である新体力テストの今年度の本町の児童・生徒の結果は、県平均と比較すると、小学校においては約7割の種目で平均を上回り、また中学校でも半数の種目で平均を上回り、一定の体力は身につけている。今後も体を動かすことが好きで、スポーツに興味を抱ける児童・生徒を育成していく。

3 質問 令和6年度新規事業について

問 令和6年度新規事業は昨年度より大幅に増加して58事業となった。予算額の大きい事業としては保健センター等複合施設建設工事費、土地購入費、長幡児童館計画改修工事費、消防車両購入費等になる。これまでどの程度の事業が達成されているか。

答 概ね順調に執行されている。支出負担行為の執行率は80%を超えている。しかし、今後の建設事業については、不測の事態で年度内の完了が困難になる場合もありうる。

議会広報広聴常任委員会

委員会
レポート

目 付:11月26日(火)
視察先:軽井沢町

令和6年11月26日(火)午後1時30分より長野県軽井沢町への視察研修を実施しました。

- ①議会だより軽井沢は定例議会の翌月25日発行。
- ②読者モニターは10名で任期は2年(経過後は辞めてもらう)。
- ③議会広報は、今年の1月からライブ配信している。
- ④議会報告会ならびに意見交換会の発言時間は1人2分間でタイムキーパーがベルを鳴らす。
- ⑤タウンミーティングのテーマは(東・中・西)地区ごとに決める。

⑥受付で座る席をクジ引きで決めて、各テーブルに座る。

⑦タウンミーティングは公民館で開催、現在は民間施設で開催。

⑧「議会報告会」と「意見交換会」の課題は、参加者が少ない事。

※軽井沢町議会も同様な課題を抱えており、町民に開かれた議会、又、読んで頂ける議会だよりを目指して行かなければと感じました。

植原育雄副委員長



総務経済常任委員会

委員会
レポート

目 付:11月12日(火)、13日(水)
視察先:富山空港、イタイイタイ病資料館
四季防災館、道の駅KOKOくるべ

11月13日より1泊2日の日程で、富山県富山市、黒部市において視察研修を行いました。

12日(火)

『富山きときと空港』は、富山県の中心を流れる神通川の河川敷に1,200mの滑走路をもつ空港として昭和38年8月20日に開港。

当初はプロペラ機でありましたが、昭和59年3月18日にジェット機就航のため2,000mに延長し、生まれ変わりました。

当時は東京方面には鉄道で6~7時間要し、地域社会の課題である利便性を計るため、空港を望んでいたとのことでした。

留意点は洪水時対応や騒音対策、河川の流れる方向に沿うので進入降下、離陸上昇等が難しいとのことでした。

施設は地方管理空港(自治体が設置管理)で面積は91.6ha。中型ジェット機での運用とのことで、令和5年11月現在国内線東京便、札幌便へ運航し、年間約25万人に利用されています。

続いて、『イタイイタイ病資料館』を視察。この病は、神通川流域で起きた日本の4大公害病の1つで、患者が「イタイ、イタイ」と泣き叫ぶことからこの名が付いたとのことでした。

この病気は大正時代頃から発生し、神岡鉱山(岐阜県飛騨市)から排出されたカドミウムが神通川の水や流域を汚染し、川の水や汚染された農地の米などを通じて、体内に入ることによって引き起こされました。患者救済や健康調査は、今もなお行われています。

13日(水)

富山の自然や四季のサイクルの中で災害をとらえ、克服に向けた先人たちの努力を学べる防災展示学習の場あり、地震体験(揺れをリアルに体験)や煙体験(煙の中を避難する)を体験学習できる『四季防災館』を視察。

3次元に動く振動装置でリアルに地震の揺れを体験しました。

また、黒部市にある防災機能が備わる『道の駅KOKOくるべ』では、防災施設を視察。

非常用発電装置、防災倉庫、貯水槽等、隣接する総合公園と連携した避難支援活動の拠点としての機能を有し、同時に地域の賑わいを創出していました。

高橋 仁



開港は60年前



神通川の大型
イメージ写真



3次元に動く震動装置



防災倉庫



ガスタンク

文教厚生常任委員会

委員会
レポート

日付:1月16日(木)

視察先:上里町立空の杜保育園

当日は10時30分より委員長以下5名及び議長が出席し視察を実施しました。

初めに5歳児による園歌の合唱の歓迎を受け感動しました。この保育園は中央・長幡保育園の廃止により、新たに平成2年度に建設された保育園であり、定員70人で0歳児から5歳児までの6クラスに分かれ、「やさしい子 げんきな子 がんばる子」を保育目標にして取り組んでいるとのことでした。

建物は木造作りでぬくもりが感じられ、トイレなど随所に今迄の保育士さんの経験からの意見が反映された構造になっていました。

時折、幼児が委員に挨拶を交わす姿は、かわいらしく素敵だなあと感じました。今後も各保育園や幼稚園を廻っていけたら、各園の素晴らしいところが見られるのではないかと考えた視察でした。

戸矢隆光



児玉郡町議会議員 後期研修会

日付:1月22日(水)

会場:神川町役場

演題:「地方分権時代の中で地方自治体に求められる役割」

～関与する議会の在り方について～

講師:内閣府 地方分権改革推進室 参事官 寺本久幸氏

第1次地方分権改革が平成5年から発足し、地方自治体に対し国の関与の新しいルールが創設されました。その後、平成18年には第2次地方分権改革が見直され、地方自治に対する規制緩和が行われるようになり、平成26年からは提案募集方式が導入され現在に至っております。

○提案募集方式の流れ 内閣府HPより



提案募集方式とは、地域が直面する課題解決に向け地方公共団体が内閣府に制度改正を提案し、地方が使いやすい制度に改善し、地方創生に資することです。つまり、地方からのボトムアップで国の制度を変えることができるシステムです。全国的にはこの制度を利用し、住民の利便性を向上させている自治体はいくつもあるようです。

昨今の地方公共団体を取り巻く環境は、国の地方創生等により大きく変化しております。地方分権の進展に伴い議会の果たすべく役割は拡大し、今まで以上に責任のある議会活動が求められています。

超少子高齢化の進行する中で医療・福祉・教育等、地方創生への取り組みは非常に重要であります。1月に行われた第3回議会報告会・意見交換会では町民の皆様からいろいろな意見を聞かさせていただきました。これらの意見等も十分に汲み取りより

住みやすい町、持続可能な町づくりを目指していきたいと思えます。

黛 浩之



受賞おめでとうございます。

児玉郡町議会議長会より、黛浩之議員・戸矢隆光議員が議長会役員としての功績で、植原育雄議員が在職15年にわたり地方自治の進展に寄与された功績により表彰されました。



黛浩之議員



戸矢隆光議員



植原育雄議員

「ふれあい座談会」を開催

「第3回 意見交換会
ならびに議会報告会」

○日にち・場所

1月18日(土) 長幡公民館・賀美公民館・神保原公民館
1月25日(土) 七本木公民館・上里東公民館

○時間 13時30分～15時30分

○内容 ①定例会・臨時会の概要
②意見交換(自由意見)

長幡公民館

参加者 9人

○担当議員

金子 義則 議員(司会)
戸矢 隆光 議員
高橋 正行 議員
黛 浩之 議員



齊藤 崇 議員(議会報告)

いただいたご意見の一部

- ・ゴミ問題を何とかする仕組みを考えてほしい。
- ・サービスエリア北側の駐車場が狭い。
- ・リバーサイドを含めた開発について。
- ・議会だよりや視察の費用について、公費を使っている
ので、もっと内容をしっかりと報告してもらいたい。
- ・農道で農耕者優先をもっとアピールしてほしい。
- ・空き缶を畑に捨てていく人が多い。
- ・ゴミのポイ捨て等、
マナーをきちんと守
ってほしいというこ
とを町から言っても
らいたい。
- ・地域に住まない後継
者が多く将来が心配。



賀美公民館

参加者 11人

○担当議員

伊藤 覚 議員(司会)
飯塚 賢治 議員
植原 育雄 議員



石井 慎也 議員(議会報告)

いただいたご意見の一部

- ・児童館の日曜日の開館について。(ニーズを調査してほ
しい。できれば日曜日にイベント等を開催してほしい。)
- ・賀美公民館が新しくなっても、きちんとした調理室が
ほしい。味噌づくりの機械もほしい。新しい施設を検
討するときは利用している人の意見を聞いてほしい。
- ・町道の整備事業の改善について。(境界が未確定の町
道の明確化。違法駐車や越境建物の防止。)
- ・賀美地区の空き家に
何件も泥棒が入って
いる。1人暮らしの人
も多いので怖い。
- ・班単位、字単位の防
災訓練。



神保原公民館

参加者 25人

○担当議員

高橋 勝利 議員(司会)
杵澤 幸子 議員
高橋 仁 議員



猪岡 壽 議員(議会報告)

いただいたご意見の一部

- ・中山道から17号に出るところに右折信号を。
- ・国道17号にかかる歩道橋は、高齢者は使えない。横断
歩道を設置してほしい。
- ・事故が多いため、駅通りの電柱の移動をしてほしい。
- ・旧トライアル西側の道路側溝のふたがガタガタうるさい。



- ・住んで良かったと思える町、保育料の無償化は良かった。
- ・公立病院を建てて欲しい。
- ・旧トライアル跡地を直売所や喫茶店など住民が集える
場所にして欲しい。
- ・上里町には働く場所が必要。旧トライアル跡地の活用を。
- ・隣保館跡地は、どこの土地なのか。
- ・下水道終末処理場跡地の残土が風で舞い上がって酷い。
- ・17号バイパスの開通により、忍保と八町河原は陸の孤
島とならないようにしてもらいたい。
- ・忍保大橋に歩道を設置してもらいたい。

七本木公民館

参加者 6人

○担当議員

高橋 正行 議員(司会)
石井 慎也 議員
戸矢 隆光 議員
植原 育雄 議員
杏澤 幸子 議員
黛 浩之 議員



猪岡 壽 議員 (議会報告)

いただいたご意見の一部

- ・ウニクス交差点の信号機設置を議会でも進めてほしい。
- ・忍保グラウンドの遊具をもう一度設置してほしい。
- ・町内に空き家や空き地が本当に多い。管理を町で援助してきれいにできないものか。

- ・上里SA周辺が夜間暗いので、せめて夜8時くらいまでは街灯をつけて明るくしてほしい。
- ・児玉工業団地線の本郷交差点の信号機に矢印がないので渋滞している。ぜひ県に要望してほしい。
- ・新幹線の高架下の空き地に雑草がひどいところがある。町を通じてJRに要望してほしい。
- ・休日議会を開催してみてもどうか。
- ・汚水等の汲み取りを必要としない町にしてほしい。
- ・体育の日の連休にみんなが楽しく参加できるイベントをやって欲しい。
- ・ワープ上里のイベントで定期的に参加しやすい事業がほしい。



上里東公民館

参加者 31人

○担当議員

金子 義則 議員(司会)
高橋 勝利 議員
飯塚 賢治 議員
齊藤 崇 議員



高橋 仁 議員 (議会報告)

いただいたご意見の一部

- ・独り暮らしの高齢者が通報する方法がない。
- ・地域のつながりが大事。
- ・民生委員の欠員が出ないようにお願いしたい。
- ・各地区管理のU字溝と管渠を町に引き受けてもらいたい。

- ・上里町内全域に下水道を整備する計画はあるのか。
- ・带状疱疹の助成金について。
- ・神保原駅を橋上化してもらいたい。
- ・事業にかけるお金は、会社を誘致して法人税を充ててもらいたい。
- ・神保原駅の南側の農地開発ができるような方法を考えてもらいたい。
- ・状態の悪い古新田四ツ谷線の改善。
- ・障害者や高齢者などの移動困難者の公共交通の利用料金は、無料にしたほうが良い。
- ・時々このような機会が欲しい。



アンケート結果

約6割の方が「よかった」と回答

- 問1 あなたの年齢は
20歳未満：0人 20歳代：0人 30歳代：2人
40歳代：1人 50歳代：5人 60歳代：11人
70歳代：38人 80歳以上：12人
- 問2 あなたの性別は
男性：44人 女性：21人 未回答：4人
- 問3 あなたのお住まいは
賀美：7人 長幡：5人 七本木：9人
上里東：22人 神保原：22人 町外：4人
- 問4 今回の意見交換会ならびに議会報告会の開催は
何で知りましたか(複数回答)
ホームページ：1人 毎戸配布チラシ：50人
ポスター：7人 議員から：15人
その他：5人(区長からなど) 未回答：1人
- 問5 内容はいかがでしたか
良かった：43人 どちらともいえない：6人
良くなかった：0人 未回答：20人

- 問6 今後の開催についてご希望はありますか(複数回答)
・平日：8人 土曜日：45人 日曜日：18人
未回答：12人
・午前：5人 午後：48人 未回答：16人
・役場開催：6人 地区開催：50人 未回答：14人
・意見交換(全員：33人 グループ：11人
テーマ 有：17人) フリートーク：15人
未回答：4人
※取り入れてほしいテーマ
子育て支援、部活の地域移行、少子・高齢化、災害に
対する自助・共助の立案と小単位の訓練
- 問7 自由意見
・自分の思っていたことが多く出た。思っている事は
同じ。
・時間が足りない。
・時々このような機会が欲しい。
・住み良い町づくりに頑張って下さい。

※参加者の皆様からいただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に活かしていきます。

議会日誌

12月

- 5日 定例会開会、町長の行政報告等、一般質問
- 6日 一般質問
- 9日 全員協議会
- 10日 議案審議(条例改正、補正予算等)
- 11日 議会運営委員会
- 13日 全員協議会、定例会閉会
- 23日 本庄上里学校給食組合議会臨時会
- 24日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

1月

- 12日 上里町二十歳の集い
- 16日 議会広報広聴常任委員会
文教厚生常任委員会視察研修会
- 18日 第3回意見交換会ならびに議会報告会
- 22日 児玉郡町議会議員後期研修会
- 25日 第3回意見交換会ならびに議会報告会
- 29日 町村議会議長会視察研修会

2月

- 6日 全員協議会
- 12日 総務経済常任委員会視察研修会
- 13日 議会広報広聴常任委員会
- 14日 議会運営委員会
- 18日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
- 20日 本庄上里学校給食組合議会



地球温暖化の影響により、毎年暖冬が続き、桜の開花も年々早くなっております。アメリカの「パリ協定」からの離脱は、今後どのような影響を及ぼすのでしょうか。町民の皆様には、引き続きゴミの減量化や、分別処理など、小山川クリーンセ

伊藤 覚

議会広報広聴
常任委員会
委員長 高橋 仁
副委員長 植原 育雄
委員 石井 慎也
伊藤 覚
金子 義則
戸矢 隆光
 浩之

第2回3月定例会の日程(予定)

日 月 火 水 木 金 土

						1
2	3	4	5	6	7	8
		(開会) 一般質問	一般質問		議案審議 (条例・補正等)	
9	10	11	12	13	14	15
	議案審議 (当初予算)					
16	17	18	19	20	21	22
	議案審議 (当初予算)	常任委員会	常任委員会	春分の日	(閉会) 報告・採決	
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※開会は原則午前9時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は1時30分です。(時間は変更になることがあります。)
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第2回3月定例会一般質問一覧

氏名	質問事項
齊藤 崇	① 経済対策について
	② PFASについて
	③ 町有地について
	④ 高齢者の対応について
新井 實	① 道の駅拠点の町づくりについて
	② 新しい地方創生について
	③ 道路の陥没事故について
沓澤 幸子	① 平和事業について
	② 猛暑対策について
	③ ごみ減量と環境問題について
石井 慎也	① 道の駅について
	② 要望書について
	③ インフラの更新について
	④ 神保原駅北まちづくりについて
戸矢 隆光	① 産業の振興について
	② 駅北まちづくりについて
	③ 研修会の開催について
	④ 上武空港について
金子 義則	① 子ども子育て支援について
	② 町民からの意見について
高橋 勝利	① 年取103万円が123万円になったらどうなるのか
	② 教育環境の充実について
	③ デジタル教科書について
	④ 町道及び通学路の安全について
高橋 仁	① 産業振興について
	② 西崎キクについて
	③ 財政について

2025年(令和7年)3月1日発行

発行/上里町議会 編集/議会広報広聴常任委員会
住所/T3069-03002 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地
TEL 0493-5503-51(直) FAX3-5524200